

A large background image showing the Ferro Tec logo on the left and various industrial components, including a large cylindrical metal part, on the right. The background is a light blue gradient.

株式会社フェローテック

2011年3月期 第2四半期決算説明会資料

2011年11月22日

(ジャスダック6890)

<http://www.ferrotec.co.jp/>

1. 当期連結決算においては、連結子会社・持分法適用会社は2010年1月～6月末の業績、フェローテック単体は、2010年4月～2010年9月末の業績を連結しております。
2. 本資料は、2011年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、本資料は2010年11月22日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

1. 2011年3月期第2四半期業績報告
2. セグメント別の状況と今後の見通し



2011年3月期第2四半期業績報告

セグメント別の状況と今後の見通し

連結決算サマリー



百万円	2010年3月期 2Q		2011年3月期 2Q		前年同期比	
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	13,423	100.0	23,765	100.0	10,342	77.0
売上原価	10,100	75.2	16,254	68.4	6,154	60.9
売上総利益	3,323	24.8	7,511	31.6	4,188	126.0
販売管理費	3,866	28.8	5,267	22.2	1,401	36.2
営業利益	△543	-	2,243	9.4	2,786	-
営業外収益	375	2.8	173	0.7	△202	△53.9
営業外費用	337	2.5	524	2.2	187	55.5
経常利益	△504	-	1,893	8.0	2,397	-
特別利益	69	0.5	104	0.4	35	50.7
特別損失	57	0.4	81	0.3	24	42.1
四半期純利益	△437	-	1,344	5.7	1,781	-
設備投資額	1,151	-	2,094	-	943	81.9
減価償却費	1,295	-	1,308	-	13	1.0

セグメント別売上高および営業利益



売上高 (単位:百万円)	2010年3月期 2Q累計		2011年3月期 2Q累計		前年同期比	
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	増減額	増減率(%)
装置関連	5,972	44.5	13,006	54.7	7,034	117.8
電子デバイス	1,511	11.3	3,050	12.8	1,539	101.9
太陽電池	5,038	37.5	6,788	28.6	1,750	34.7
その他	901	6.7	919	3.9	18	2.0
合計	13,423	100.0	23,765	100.0	10,342	77.0

営業利益 (単位:百万円)	2010年3月期 2Q累計		2011年3月期 2Q累計		前年同期比	
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	増減額	増減ポイント
装置関連	△824	-	1,370	10.5	2,194	-
電子デバイス	△72	-	411	13.5	483	-
太陽電池	435	8.6	357	5.3	△78	△3.3 P
その他	△46	-	126	13.7	172	-
全社消去	△37	-	△22	-	15	-
合計	△543	-	2,243	9.4	2,786	-

連結貸借対照表 ～資産～



(百万円)	2010/3期 期末	2011/3期 9月末	増減額
流動資産	25,622	29,654	4,032
現金・預金	7,345	6,688	△657
受取手形及び売掛金	10,129	12,535	2,406
たな卸資産	5,798	7,802	2,004
固定資産	22,341	23,631	1,290
有形固定資産	16,943	17,784	841
建物及び構築物	5,076	4,989	△87
機械装置・運搬具	5,348	6,216	868
工具、器具、備品	2,570	2,504	△66
土地	2,803	2,792	△11
無形固定資産	2,928	2,766	△162
のれん	1,942	1,836	△106
投資その他資産	2,469	3,080	611
資産合計	47,963	53,286	5,323

【流動資産:4,032百万円増の主な要因】

販売増加に伴い、主に売掛金、たな卸資産が増加したことによる。

たな卸資産:主なもの 真空シール902百万円
 石英1,051百万円 セラミックス1,012百万円
 シリコン結晶製造装置1,196百万円

【有形固定資産:841百万円増の主な要因】

機械装置・運搬具:主に太陽電池関係で増加。

【無形固定資産の状況】

のれん償却額:

上期実績:212百万円 下期予定:212百万円

【投資その他資産:611百万円増の主な要因】

売掛金のうち回収が1年超となる部分を投資その他の資産に振替。

連結貸借対照表 ～負債及び純資産～



(百万円)	2010/3期 期末	2011/3期 9月末	増減額
流動負債	19,239	24,270	5,031
支払手形及び買掛金	4,988	7,665	2,677
短期借入金	6,904	8,489	1,585
1年内返済予定の 長期借入金	3,199	3,110	△89
固定負債	6,142	6,320	178
社債	150	150	0
長期借入金	5,000	5,167	167
負債合計	25,382	30,590	5,208
純資産	22,581	22,695	114
株主資本	22,976	24,023	1,047
評価・換算差額等	△846	△1,776	△930
少数株主持分	451	448	△3
負債・純資産合計	47,963	53,286	5,323

【流動負債:5,031百万円増の主な要因】

取引増加に伴う支払債務の増加。
短期借入金の増加。

【有利子負債比率の状況】

短期借入+1年内長期借入	11,599	(10/3:10,103)
長期借入+社債等	5,317	(5,150)
合 計	16,916	(15,253)
ネット有利子負債	10,228	(7,908)

【純資産項目】

株主資本の増加:利益剰余金の増加による
利益剰余金の増加:配当金支払いの一方、
四半期純利益の計上による。

評価・換算差額等の増加:
為替換算調整勘定△800百万円の計上による。

キャッシュフロー計算書



(百万円)	2010/3期	2011/3期
	2Q	2Q
営業活動によるキャッシュフロー	1,720	527
税引前四半期純利益	△492	1,916
減価償却費	1,295	1,308
為替差損益(△:益)	△166	120
売上債権の増減(△:増加)	949	△3,909
たな卸資産の増減(△:増加)	△422	△2,052
仕入債務の増減(△:減少)	△1,816	2,955
その他	2,372	189
投資活動によるキャッシュフロー	△445	△1,124
有形固定資産取得による支出	△1,151	△2,094
有形固定資産の売却による収入	92	21
投資有価証券、有価証券の取得による支出	△25	△8
投資有価証券、有価証券の売却による収入	52	-
その他	587	957
財務活動によるキャッシュフロー	2,165	1,457
短期借入金の増減額	△808	1,702
長期借入れによる収入	2,365	1,838
長期借入金の返済による支出	△2,249	△1,725
配当金の支払額	△258	△296
その他	3,111	△62
現金及び現金同等物の増加額	3,593	573
現金及び現金同等物の期首残高	5,410	5,867
現金及び現金同等物の期末残高	9,003	6,440

【営業CF減少の主な要因】

主に売上増加に伴う売掛債権の増加、受注増加に対応するためのたな卸資産の増加による。

今後回収が進むことで改善。

【投資CFの状況】

有形固定資産取得の主な内容:

上海子会社601百万円、杭州子会社542百万円米国子会社551百万円

その他主な内訳:

主に定期預金の増減1,207百万円

【財務CFの状況】

短期借入の主な実績:

フェローテック650百万円、中国子会社1,064百万円

長期借入の主な実績:

フェローテック1,600百万円

長期借入金の主な返済実績

フェローテック1,069百万円、中国子会社523百万円

資金調達を11月5日に実施



調達手段	調達金額 ()内: 当該発行による潜在株式数
第三者割当により発行される無担保転換社債型新株予約権付社債	2,000百万円 (1,915,708株)

資金使途	投資予定額 ()内: 支出予定次期
上海 ウェーハ製造設備の増強	650百万円 (平成22年12月～平成23年9月)
上海 ウェーハ製造用工場建屋増築	450百万円 (平成23年2月～平成23年9月)
杭州 多結晶太陽電池用の角槽事業出資金	888百万円 (平成22年11月)

注) 12百万円は、弁護士・公認会計士などの発行諸費用

希薄化率: 7.72% (議決権ベース)

通期業績見通し



(百万円)	2010/3期	2011/3期	2011/3期	2011/3期と各数値の比較	
		期初予想	修正予想	2010/3期比(%)	期初計画比(%)
売上高	31,541	38,000	46,500	47.4	22.4
営業利益	703	2,750	4,100	483.2	49.1
経常利益	524	2,330	3,400	548.9	45.9
当期純利益	156	1,360	2,300	1,374.4	69.1
設備投資額	2,386	3,000	3,500	46.7	16.7
減価償却費	2,605	2,700	2,700	3.6	-

通期業績見通し(セグメント別売上高)



■ = 前期まで「CMS」に分類していた事業

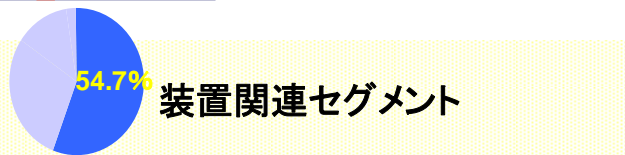
(百万円)	2010/3期	2011/3期	2011/3期	2011/3期修正値と各数値比較	
		期初予想	修正予想	2010/3期比(%)	期初計画比(%)
装置関連	14,952	19,310	24,353	62.9	26.1
真空シール	3,921	5,200	6,702	70.9	28.9
石英製品	3,470	4,120	5,800	67.1	40.8
セラミックス	2,524	3,100	3,500	38.7	12.9
半導体用シリコン製品	740	740	850	14.9	14.9
EBガン・LED	1,167	2,960	3,301	182.9	11.5
ウエーハ加工	3,130	3,190	4,200	34.2	31.7
電子デバイス	3,750	3,920	5,870	56.5	49.7
サーモモジュール	3,407	3,550	5,470	60.6	54.1
磁性流体(FEB)、その他	343	370	400	16.6	8.1
太陽電池	10,579	12,660	15,150	43.2	19.7
石英坩堝	1,893	2,100	3,000	58.5	42.9
太陽電池用シリコン	1,987	2,310	3,900	96.3	68.8
シリコン結晶製造装置	6,699	7,510	7,550	12.7	0.5
その他	-	740	700	-	△0.5
その他	2,259	2,110	1,127	△50.1	△46.6
合計	31,541	38,000	46,500	47.4	22.4



2011年3月期第2四半期業績報告

セグメント別の状況と今後の見通し

セグメント



真空シール

石英製品

セラミックス製品

蒸着装置

その他、ウエーハ加工

磁性流体

サーモモジュール

シリコン結晶製造装置

単結晶用 多結晶用

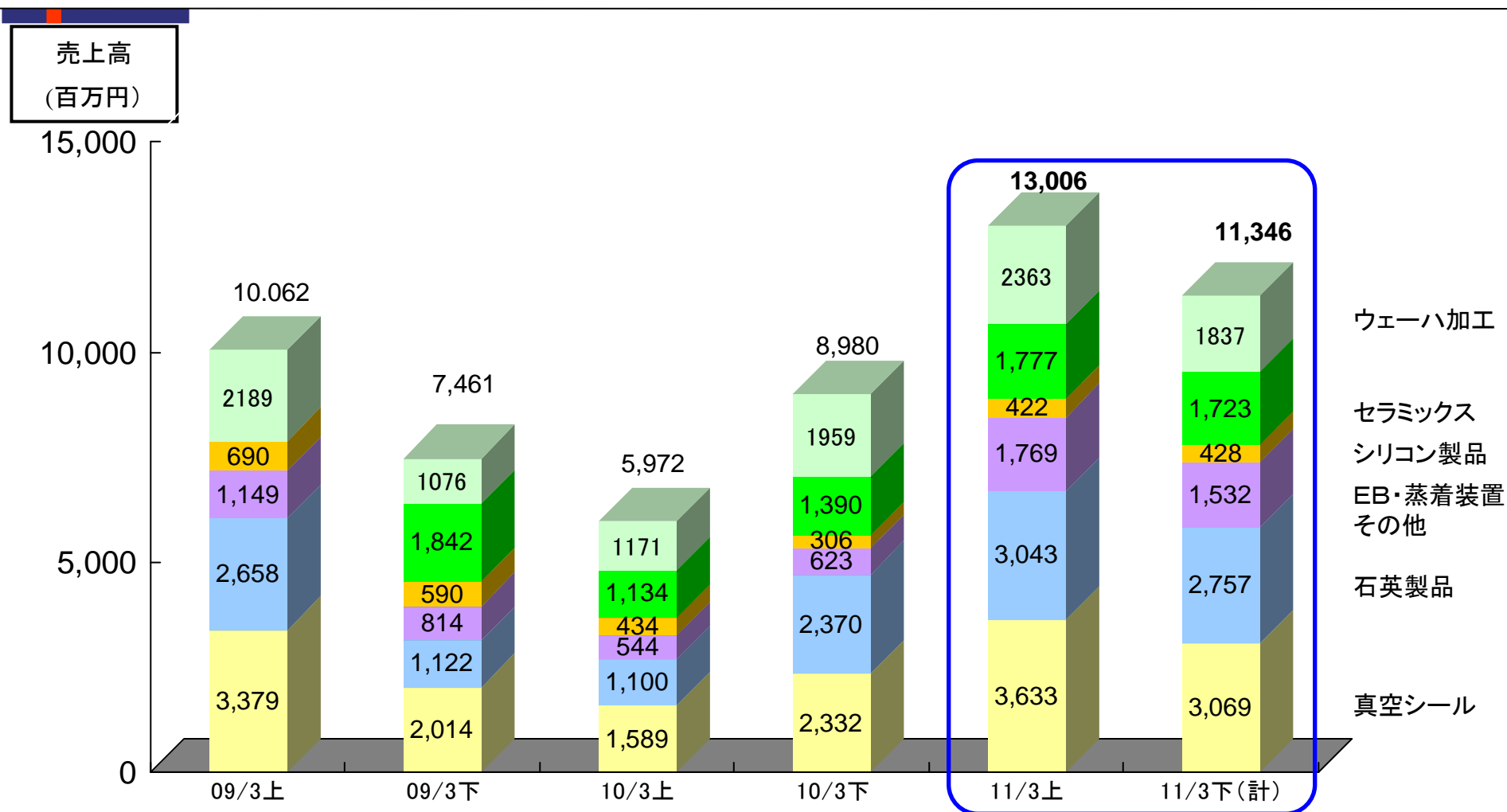
消耗品群

石英坩堝 カーボン坩堝 角型坩堝

太陽電池用シリコン(インゴット)

単結晶 多結晶 PV用ウエーハ

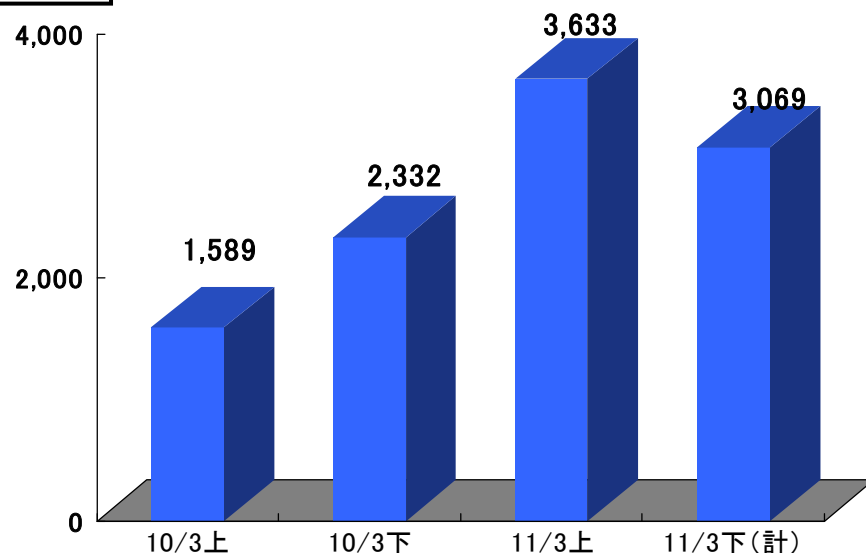
装置関連セグメント



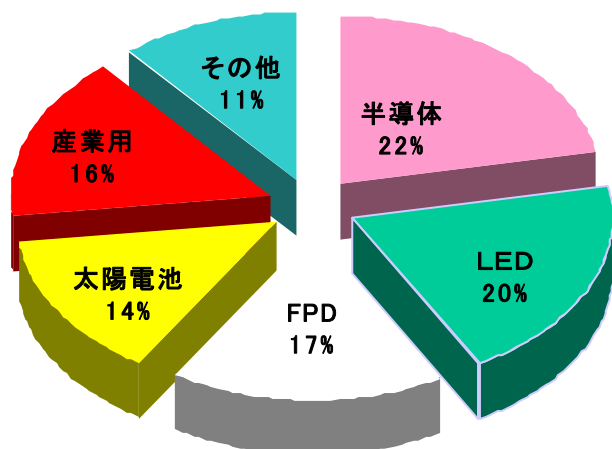
注) シリコンウェーハ加工は2011年3月期から旧CMSセグメントより装置関連セグメントへ移動しております。
2009年3月期, 2010年3月期は参考値になります。

(百万円)

売上高の推移



真空シール関連事業の販売先業種別シェア



注) 産業用: 産業用真空装置、その他: 航空、医療、科学など

1. 11/3期上期の業績

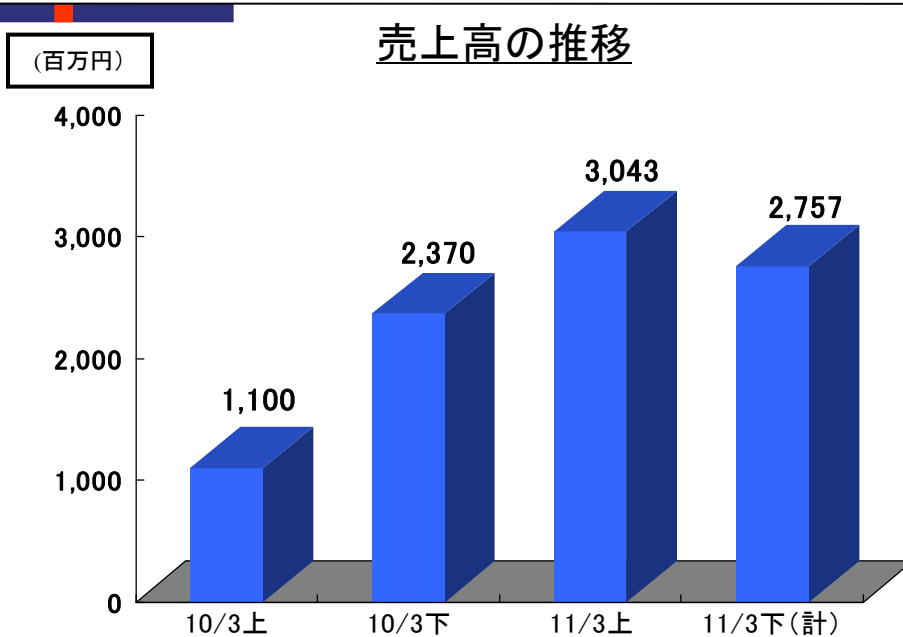
- ・新興国の需要に牽引され半導体はアジア、米国市場が好調に推移し、国内市場も回復
- ・欧州LED市場が好調を維持、FPDは安定局面に入る
- ・PV用薄膜装置向けが徐々に拡大
想定以上に売上が伸張した。

2. 11/3期下期の見通し

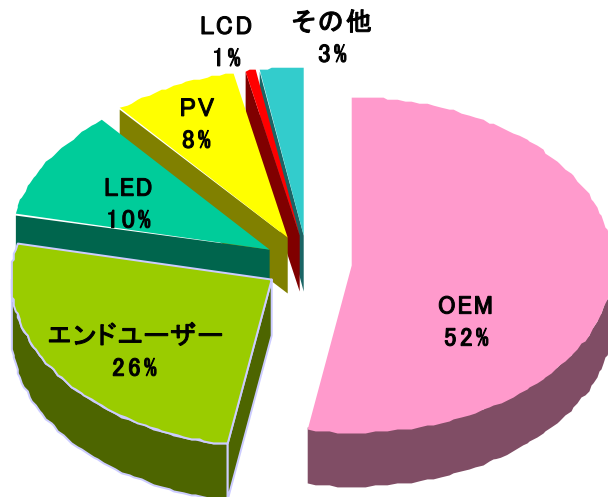
- ・半導体アジア市場、米国市場共に安定局面、設備投資の過熱感は一服と予想
- ・LED市場は好調維持の見通し
- ・FPD市場は一時的な調整後に韓国、台湾企業の中国工場認可に伴い上昇を期待
- ・ロボットメーカー向けも安定的

《施策》

- ・スペアパーツ・サブアセンブリ品の営業を展開中
中国工場の組立エリアを拡張し設備投資継続
- ・自社引上げ装置の増加に応じ、設備増強完了



石英製品の販売先業種別シェア



1. 11/3期上期の業績

- ・台湾メモリー市場が活況となり設備投資が相次ぐ
- ・アジア、国内ユーザー、米国大手OEMから受注急増
- ・LED装置向けで受注増加に生産が追いつかず

2. 11/3期下期の見通し

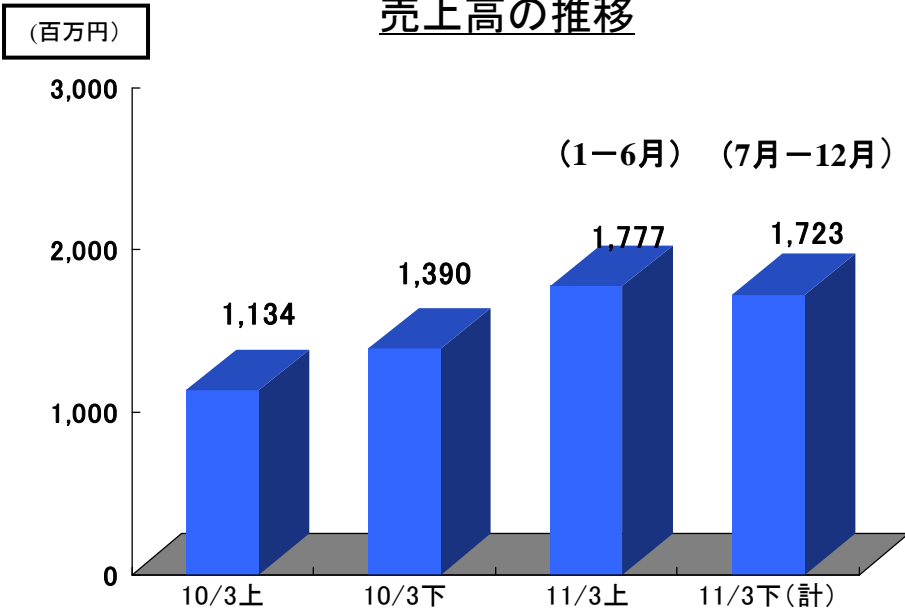
- ・台湾メモリーメーカーの増産継続、受注好調継続
- ・アジア、国内OEM、米国大手OEMから受注好調
- ・MOCVD装置向けで納期が最優先課題
- ・石英材料メーカーの供給不足及び材料高が進行

《施策》

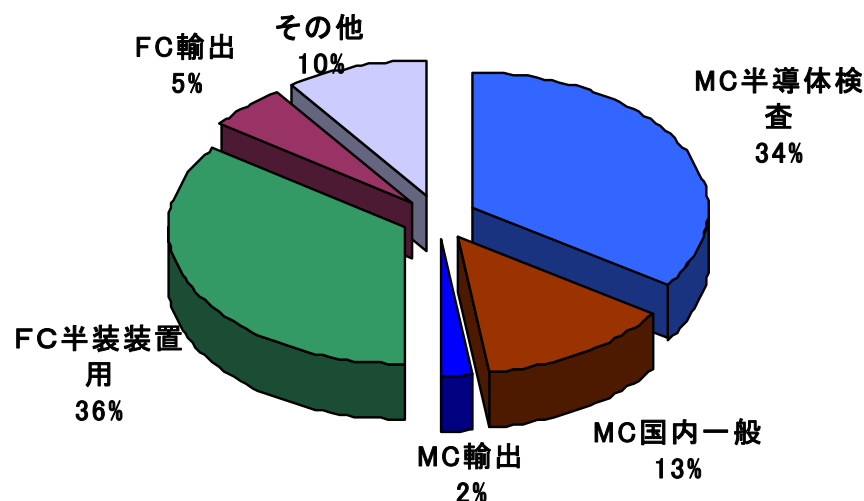
- ・短納期対応を最重要視し、生産設備増強を実施
- ・LED市場向けを取りこぼさず、寡占化を狙う
- ・材料供給不足・材料値上げから価格値戻しを要請中

セラミックス製品の状況と今後の見通し

売上高の推移



セラミックス製品の製品別販売シェア



注)FC: ファイン・セラミックス、 MC: マシナブル・セラミックス(ホットベール)

1. 11/3期 上期(1-6月)の業績

マシナブル セラミックス “ホットベール”

(Wafer回路検査治具用が主たる用途)

- ・メモリー(N/Flash)用: デザイン変更で前年同期比大幅増
- ・ロジック用: 家電・車載用中心に堅調に売上確保

ファイン セラミックス

- ・日台韓半導体メーカーの微細化大型投資を受け、期初より受注は回復し、期央より堅調な受注・販売を持続

2. 11/3期 下期(7-12月)の見通し

マシナブル セラミックス “ホットベール”

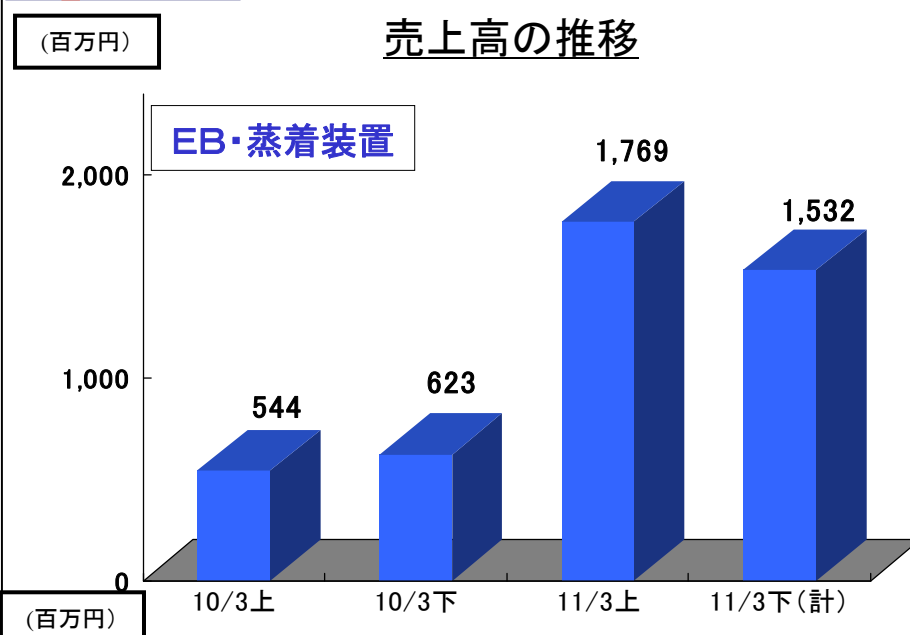
- ・メモリー(N/Flash)用: Smart Phone製品に牽引され、数量面では上期並レベルを維持、価格面の値下げ要求は更に強くなってきている
- ・ロジック用: 用途拡大とデバイス高性能化等で売上大幅増
- ・輸出は、アジア・米国・欧州向けに確実に販路拡大中

ファイン セラミックス

- ・微細化投資は続き、内外共に堅調に受注・販売を持続
- ・輸出は、米国・シンガポール向けに着実に販路を拡大中

3. 継続販売方針

- ・Wafer回路検査治具の用途拡大
- ・米国、アジア市場の新規需要家・新用途開拓営業強化
- ・新材料開発による販売競争力の強化



EBガン・蒸着装置:

1. 11/3期上期の業績

- ・LED用蒸着装置が好調(サファイヤ基板)

2. 11/3期下期の見通し

- ・HDD向けの薄膜用途で検討中
- ・他の産業用でコーティング力を検証中

《施策》

- ・アジア市場で拡販を実施
- ・中国市場向け汎用PVDの開発

ウエーハ加工:

1. 11/3期上期の業績

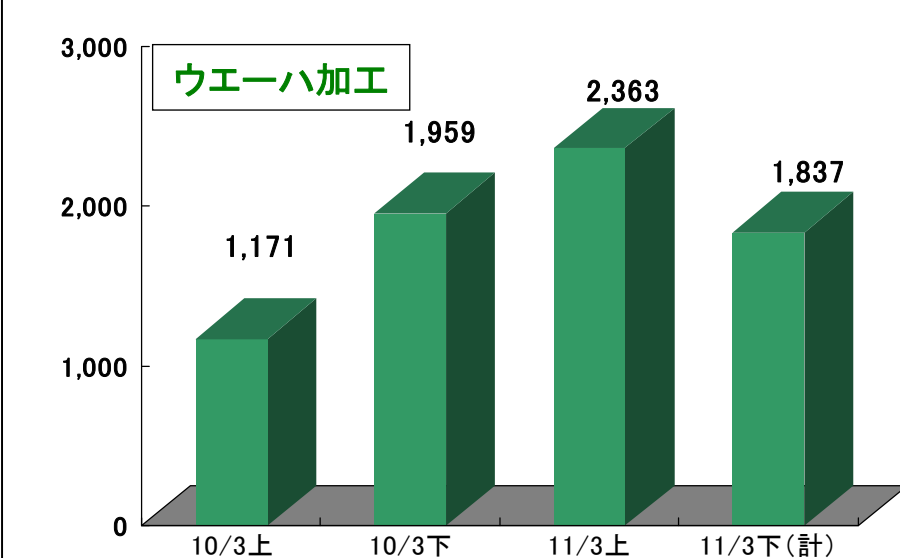
- ・6インチ・EPウエーハ需要が回復し、売上急伸
- ・製造装置の稼働率改善
- ・海外大手メーカーが小口径市場から撤退

2. 11/3期下期の見通し

- ・自社ブランド製品を立ち上げ
- ・EPサブウエーハの製造・販売を開始
- ・中国・台湾・米国企業で評価中

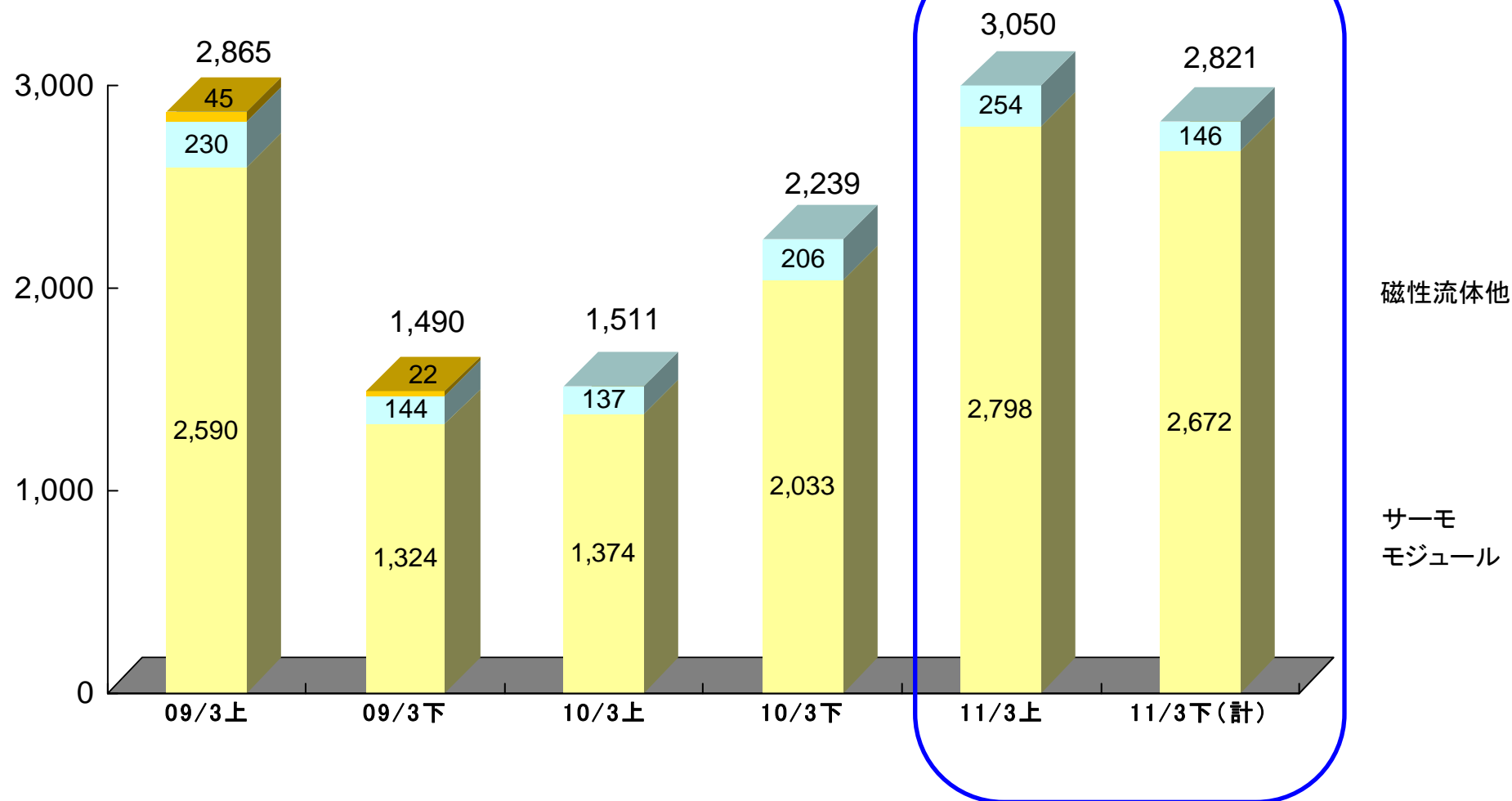
《施策》

- ・技術の習得・販売チャネルの構築



電子デバイスセグメント

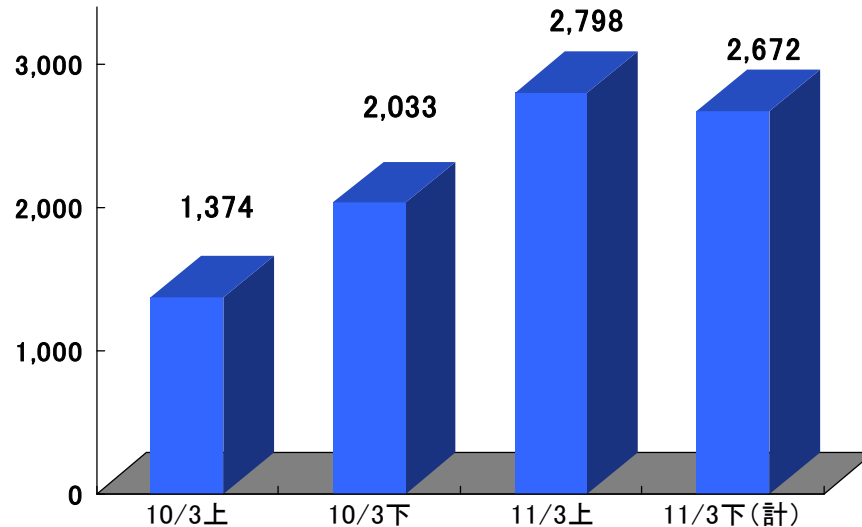
売上高
(百万円)



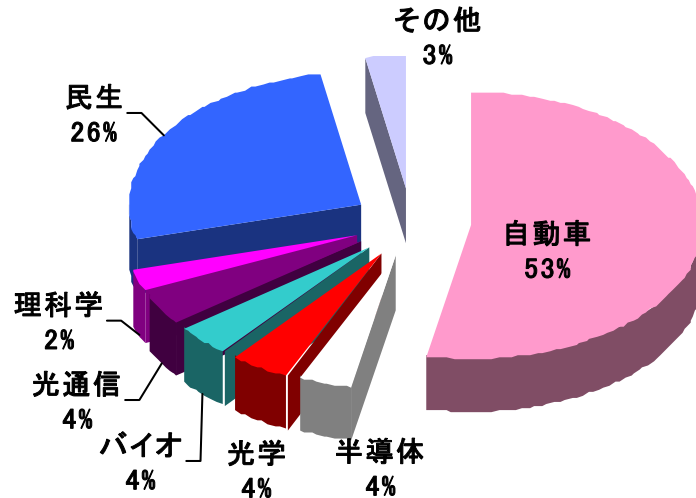
サーモモジュール製品の状況と今後の見通し

(百万円)

売上高の推移



サーモモジュールの業種別販売先シェア



1. 11/3期上期の業績

自動車温調シート

- ・自動車産業が各国政府の支援策により回復
- ・米国市場とアジア市場での自動車販売が寄与する

その他の産業

- ・半導体向けが好調に転じる
- ・季節用民生製品と光学・バイオ向けで売上伸張となる

2. 11/3期通期の見通し

自動車温調シート

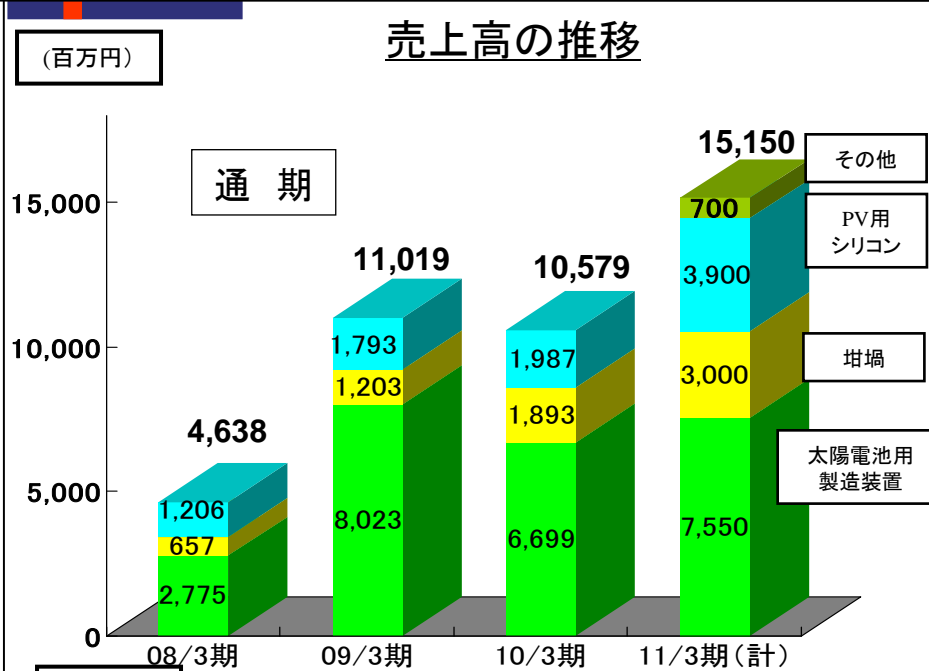
- ・政府支援の終了から、下期に在庫調整を見込む

その他の産業

- ・半導体・医療検査・バイオ機器用が好調維持
- ・民生用は季節用製品終了で、やや減少の見込み
- ・光通信向け新製品を客先にて評価中

《施策》

- ・自動化ラインを拡大
- ・光通信市場の拡大に対応
- ・レアメタル・テルルの減量型製品を開発済、評価中
- ・パワーデバイス用DBC基板の拡販



1. 11/3期上期の業績

太陽電池シリコン製造装置

- ・出荷は前期対比で減少するが、受注は急回復
- ・既存客からのリピート・新規客からの受注増加

PV用シリコン製品

- ・PV市場の需要増加により結晶は堅調に推移
- ・PV用ウエーハ生産を開始、評価販売中

坩堝

- ・受注が好調で設備投資を継続、供給能力増強
- ・中国顧客の評価進展し、受注は好調

2. 11/3期下期の見通し

太陽電池シリコン製造装置

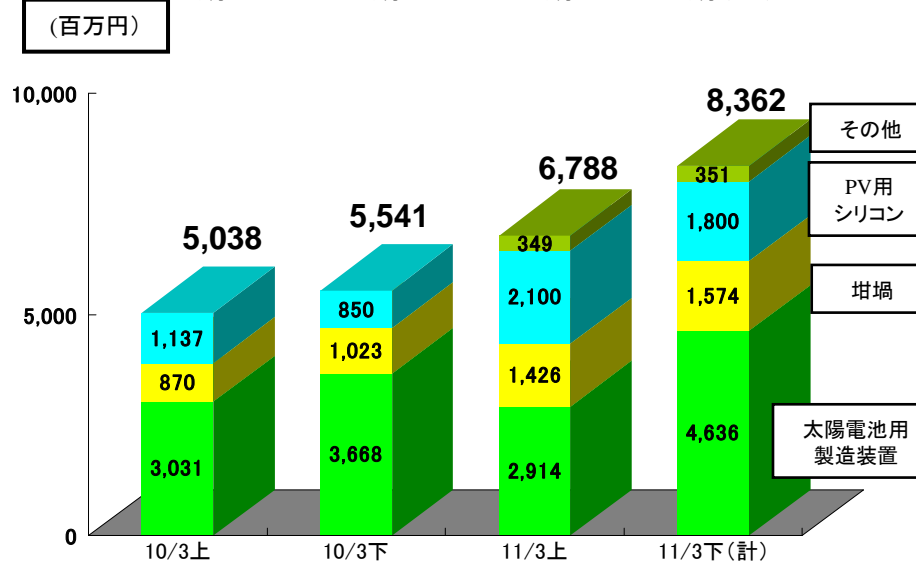
- ・製造工数不足を他部門からの補充で出荷確保
- ・順調に出荷が進み業績に貢献、受注も好調

PV用シリコン製品

- ・PV用ウエーハの販売を本格化
- ・資金調達による設備投資を実施

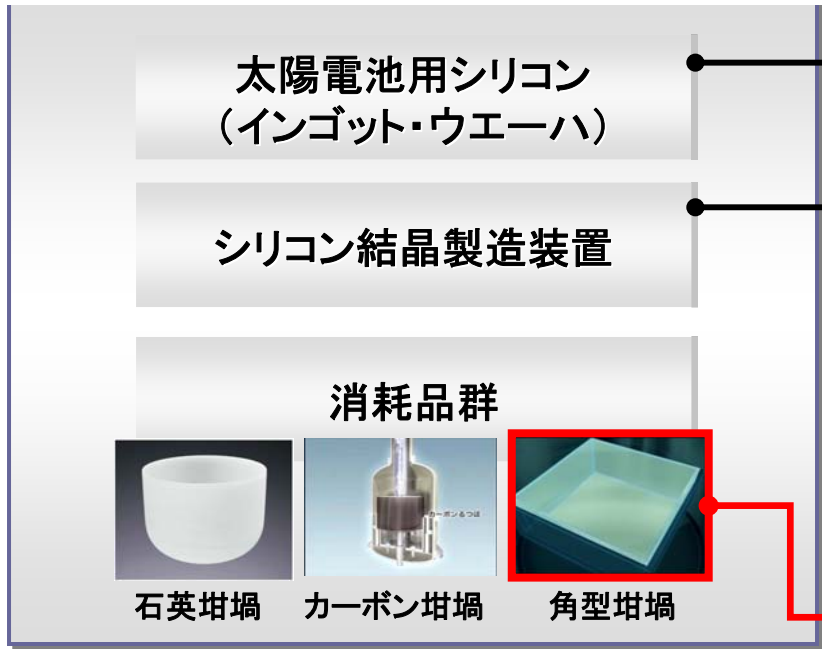
坩堝

- ・供給能力不足解消目的の設備投資を継続的に行う
- ・米国工場稼働準備中

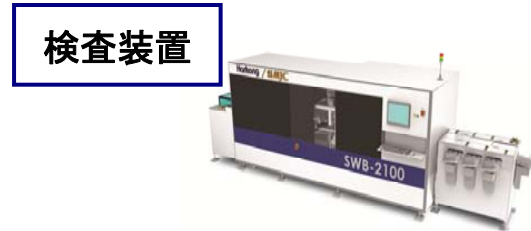
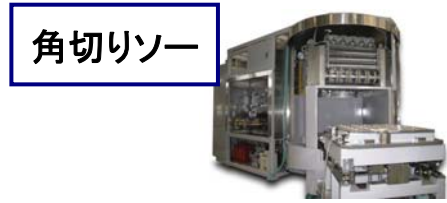


太陽電池セグメント ～更なる拡大へ～

－ 当社の太陽電池セグメントにおけるセグメント －



より顧客ニーズに沿った製品拡充による販売の拡大
引き続き販売強化を図ると同時に、
周辺装置の開発・販売にも注力



中国に合弁会社を設立(コバレント社とアライアンス)
量産体制の早期構築 ⇒ 本格的な供給へ

－シリコンウエーハの量産を本格化－

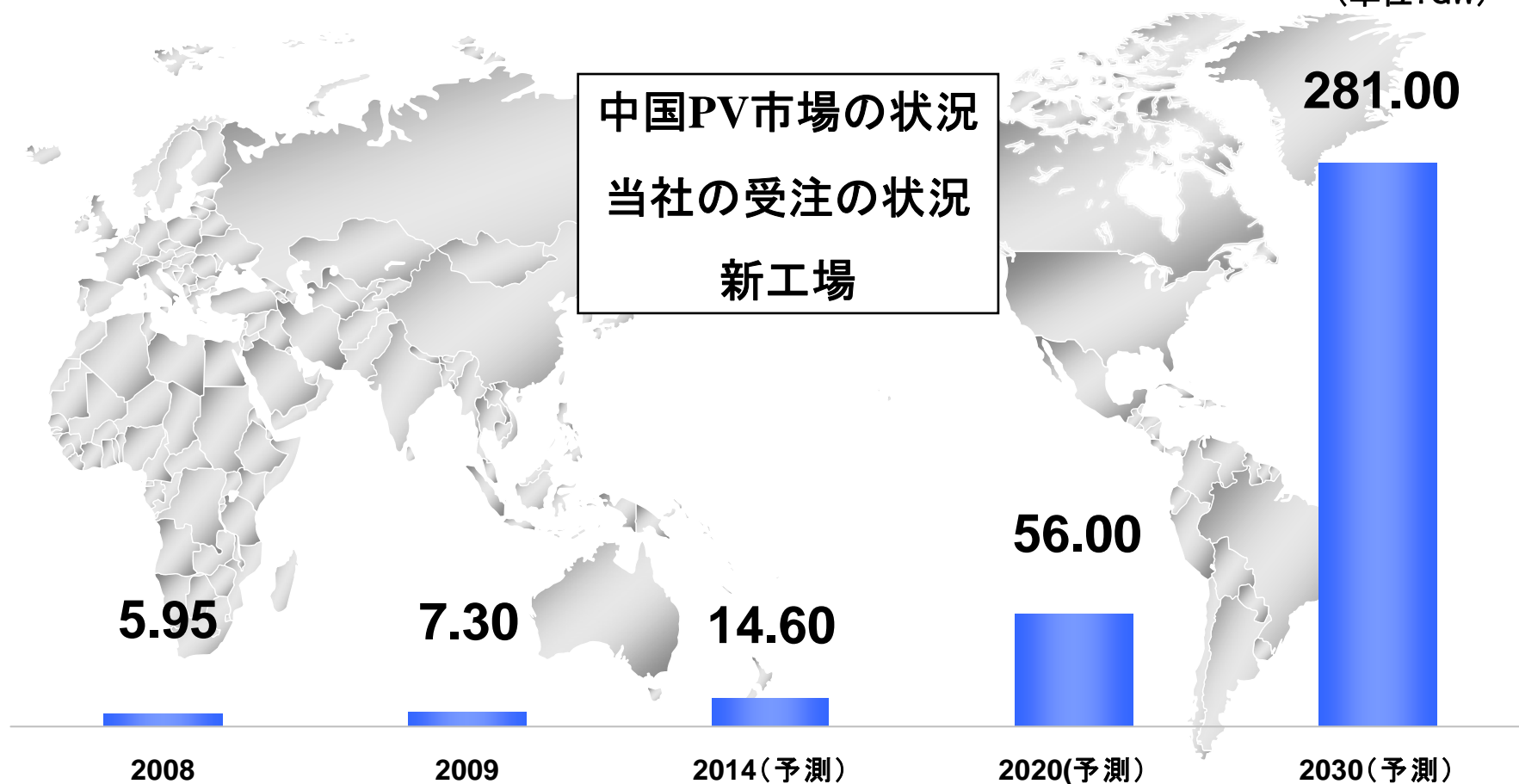


当社による一貫体制により、大幅なコストダウンを実現！

PV市場の拡大に伴い、製造装置市場・シリコン生産量も成長・拡大の予測

世界の太陽電池設置量推移及び予測

(単位:GW)



出典: Solarbuzz